

# H3打ち上げ失敗



発行所

山形新聞社

〒990-8550  
山形市旅籠町2-5-12

総合案内 023(622)5271  
読者センター 023(622)5666  
(平日9時30分～17時30分)

(c)山形新聞社2023

2023年  
3月7日  
〈火曜日〉

電子  
速報版



特別号外

■やまがた  
ニュースオンライン  
yamagata-np.jp

■モバイルやましん  
yamagata-np.jp  
/mobile/



詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

## JAXA 再挑戦も、指令破壊

宇宙航空研究開発機構（JAXA）と三菱

重工業は7日午前、日ケット1号機を発射し  
本的新型主力機H3ロケット1号機を発射し  
たが2段目エンジンが



地球観測衛星だいち3号を載せ、打ち上げられるH3ロケット1号機。2段目エンジンが  
点火せず失敗した  
11月7日午前10時37分、鹿児島県南種子町（共同通信社ヘリから）

点火せず失敗した。ミッションを達成する見込みがないとして、指令破壊した。種子島宇宙センター（鹿児島県）から、災害状況の把握に用いる地球観測衛星だいち3号を予定の軌道に投入するはずだった。2月17日の発射は機器誤動作によるトラブルで直前に中断し、今回は再挑戦。

H3は2001年に登場したH2Aロケットの後継機。衛星の打ち上げ能力を1.3倍に、コストは半分の約50億円にするとしている。主エンジンの開発がうまくいかず、1号機発射は元々計画していた20年度から延期を繰り返してきた。1号機は2月17日、主エンジンの制御装置への電力供給が数秒間途絶えるトラブルが起き、発射は直前で中断した。だいち3号はデジタルカメラのような仕組みで主に昼間の地上の様子を高精度で観測する。2種類の赤外線を検出できる防衛装備庁のセンサーも搭載し、弾道ミサイルの発射探知などに活用できるかどうかとも検証する計画だった。

H3ロケットは、国際宇宙ステーションや月周回基地に物資を届ける新型無人補給機の打ち上げに用いることが計画されている。

購読・試読の

お申し込みは

フリーダイヤル

0120-81-8040